

陸上自衛隊による災害対処訓練への支援について

☞ 首都直下地震に備え、本区が支援を行った陸上自衛隊による災害対処訓練の概要について報告する。

1 概要

首都直下地震に備え、迅速な災害対応を展開するため、区内の医療機関近接ヘリコプター緊急離着陸場に選定されている月島運動場において、陸上自衛隊（第12旅団）が航空機機動検証を実施した。

区としても、①ヘリコプター発着地点の実効性の確認、②ヘリコプター発着時の影響等の把握、③災害時における自衛隊との連携強化を図るため、本訓練への支援を行った。

2 日時等

【日時】令和7年7月17日（木）15時30分から15時50分まで
※当初は7月16日（水）の実施を予定していたが、悪天候により延期

【場所】月島運動場

3 内容・行程

多用途ヘリコプターUH-60JA(1 機)による自衛隊連絡調整員の中央区(月島運動場)への航空輸送訓練

時 間	内 容
11時45分	陸上自衛隊による事前準備
15時30分	訓練開始、月島運動場にヘリコプター進入
40分	自衛隊連絡調整員降下、ヘリコプター離陸
50分	自衛隊連絡調整員本庁舎到着、調整開始

4 区として得られた知見

- ① 月島運動場へのヘリコプターの出入について、飛行ルートを隅田川上空に設定するとともに、離着陸地点を中心に立入制限区域を設定することにより、本区への航空輸送が安全かつ有効であることを確認
- ② 自衛隊の災害派遣部隊の受入れ及び活動態勢について適時情報共有を図ることにより、災害時における自衛隊との連携体制を確認

ヘリコプター離着陸場所



降着地点を中心に
半径75mを立入制限
区域に設定し訓練実施